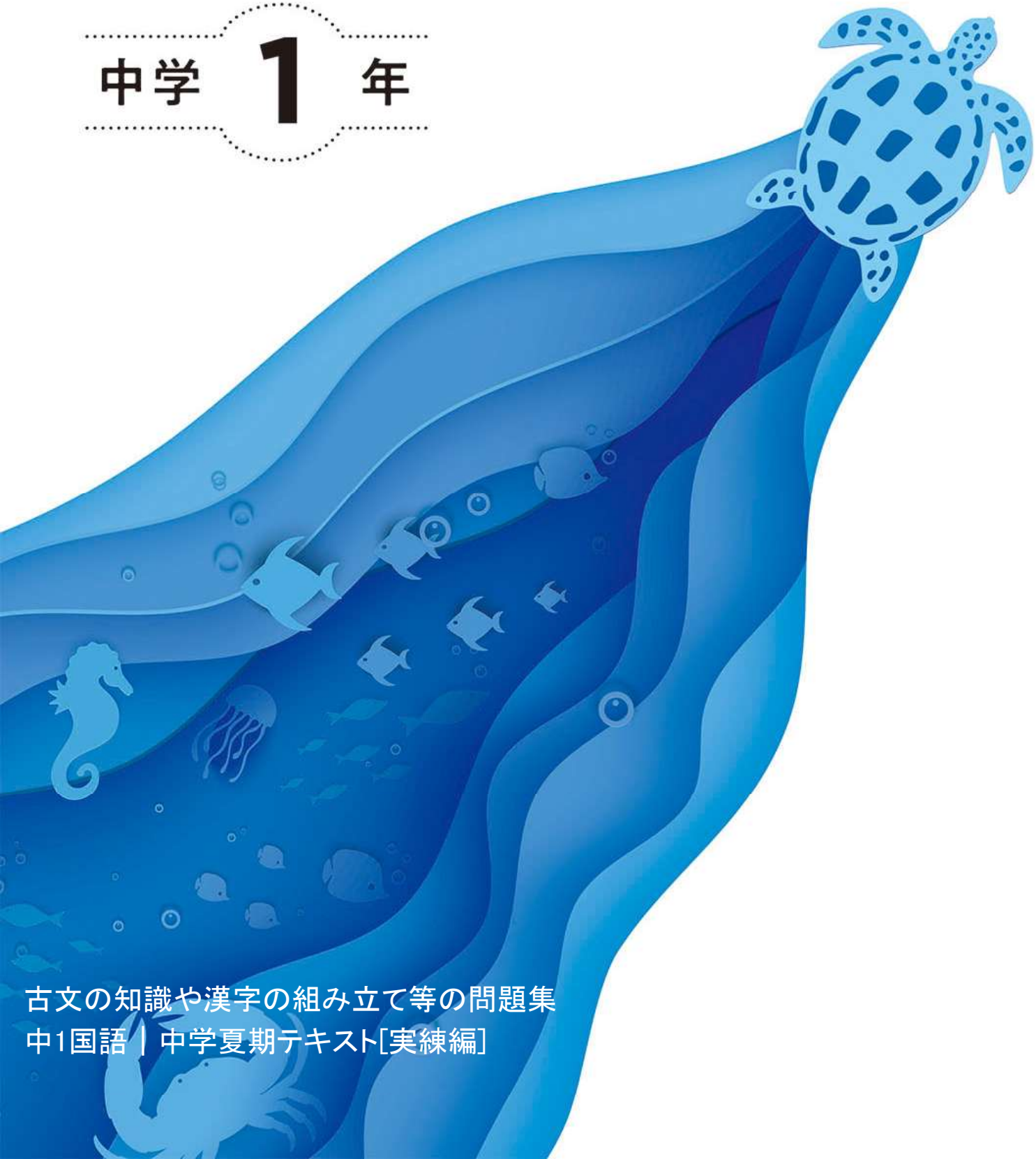
夏期テキスト

実練編

国語

中学 1 年



古文の知識や漢字の組み立て等の問題集

中1国語 | 中学夏期テキスト[実練編]

補講1 古典 ― 古文の知識

学習日 月 日

基本問題

◆◇◆ **次の古文と現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。**

昔、延暦寺にいたちご（寺で下働きをする少年）が、僧たちが夜にぼたもちを作るというのを聞きつけた。寝たふりをしながら楽しみに待っていると、どうやらできあがった気配がした。

①このちご、さだめておどろかさむずらむと、ⓐ待ちゐたるに、僧の、「もの申しⓑさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一度にいらへむも、②待ちけるかともぞ思ふとて、いま一声呼ばれていらへむと、ⓐ念じて寝たるほどに、「や、な起こした てまつりそ。幼き人は、寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、③あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかしと、思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただⓘ食ひに食ふ音のしければ、すべなくて、無期ののちに、「えい。」とⓒいらへたりければ、④僧たち笑ふことかぎりなし。

（僧たちが）きっと起こしてくれるだろうと、待っていたところ、（一人の）僧が、「もしもし。

目をお覚ましください。」と言うのを、うれしいとは

思ったが、ただ一度（呼ばれた）だけで返事をするのも、［　　］、もう一度呼ばれて返事をしようと、

我慢して寝ているうちに、「おい、お起こしするな。

幼い人は、ねむってしまわれた。」と言う声がしたので、

ああ、困ったことだと思って、もう一度起こしてくれよと、思って寝たふりをして聞いていると、むしゃむしゃと、ただひたすら食べる音がしたので、どうしようもなくて、しばらく時間がたってから、「はい。」と返事をしたので、僧たちは大いに笑った。

〈「宇治拾遺物語」より〉

問1　歴史的仮名遣い　――線ⓐ「待ちゐたる」、ⓑ「さぶらはむ」、ⓒ「いらへたり」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

ⓐ（　　）　ⓑ（　　）　ⓒ（　　）

問2　古語の意味　現代語訳を参考にして、次の言葉の意味を書きなさい。

(1)　念ず　（　　）

(2)　すべなし　（　　）

問3　主語　～～線ⓐ「念じて寝たる」、ⓘ「食ひに食ふ」は誰の動作ですか。古文中の言葉で書きなさい。

ⓐ（　　）　ⓘ（　　）

問4　人物理解　――線①「このちご」と同じ人物を指している言葉を、古文中から三字で抜き出しなさい。

SAMPLE

問5　**現代語訳**　――線②「待ちけるかともぞ思ふとて」を、「誰が」、「どんなことを」を補って現代語に訳した次の文の［　　］ⓐ・ⓑに当てはまる言葉を、ⓐは三字以内、ⓑは十字以内で考えて書きなさい。

［　ⓐ　］が、ちごは［　ⓑ　］のを待っていたのかと思うといけないと考えて

ⓐ［　　］

ⓑ［　　］

問6　**内容理解**　――線③「あな、わびしと思ひて」とありますが、どのようなことを「わびし」と思ったのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　せっかく起き上がろうと思ったのに、僧たちから小さな子供は寝るようにと注意されたこと。

イ　ぼたもちが食べたいのを必死で我慢しているのに、僧たちが何度も起こしに来ること。

ウ　もう一度起こしてくれるのを待っていたのに、眠っているから起こすなと僧たちが話していたこと。

エ　僧たちがせっかく自分を起こしてくれたのに、うとうとして返事をしそびれてしまったこと。

［　　］

問7　**内容理解**　――線④「僧たち笑ふことかぎりなし」とありますが、僧たちが笑ったのはなぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　眠っていたはずのちごが、いきなり起き出してぼたもちをむしゃむしゃとほおばり始めたから。

イ　ぼたもちがなくなりそうになってちごが慌(あわ)ててした返事が、おかしな言葉になっていたから。

ウ　ちごがようやく起きてきたけれども、すでにぼたもちは食べてなくなっていたから。

エ　眠っていたはずのちごがいきなり返事をしたので、ちごが寝たふりをして待っていたことがわかったから。

［　　］

要点のまとめ

① 仮名遣いの決まり……古文特有の仮名遣いを歴史的仮名遣いという。
- 語頭以外の「はひふへほ」……「わいうえお」に直して読む。
- 「ぢ」「づ」……「じ」「ず」と読む。
- 「ゐ」「ゑ」「を」……「い」「え」「お」と読む。
- その他……「なむ」→「なん」、「かなしう」→「かなしゅう」など。

② 古文特有の言葉……現代語では使われなくなった言葉がある。
- 「いと」……たいへん、とても
- 「よろづ」……たくさん

③ 現代語と似た形だが、意味が変化した言葉がある。
- 「めでたし」……すばらしい、りっぱだ、など。
- 「あさまし」……驚くほど意外だ、など。

④ その他の特徴……古文は現代文に比べて省略されている語が多くみられるので、文脈から補って読む必要がある。
- 主語の省略……「誰が（は）」「何が（は）」などの主語が省略されていることが多い。
- 助詞の省略……「～が」「～は」「～の」などの助詞が省略されていることが多い。

SAMPLE

演習問題

▼▽▼ 次の古文と現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。〈高知改〉

備前岡山、*表具師幸吉といふ者、①一鳩をとらへて、その身の軽重、羽翼の長短をはかり、我が身の重さをかけくらべて、自ら羽翼を製し、機を設けて、胸の前にてあやつり打ちて飛行す。地よりすぐにあがることあたはず。屋上より羽打ちていづ。

備前岡山の、表具師幸吉という者が、一羽の鳩をとらえて、その体の軽重や、羽翼の長短を計り、自分の体重と量り比べて、自分で羽翼を製作し、仕掛けを作り、胸の前で操作して羽翼を動かして飛行した。地面から直接飛び上がることはできなかった。屋根の上から羽ばたいて飛び出した。

ある夜、②郊外をかけりまはりて、一所野宴するを下し見て、もし知れる人にやと近よりて見んとするに、地に近づけば風力弱くなりて、思はず落ちたりければ、その男女おどろき叫びて逃れ走りける。

ある夜、町外れの空を飛び回って、ある場所で野外の宴会をしているのを見下ろし、もしかしたら知人ではないかと近よって見ようとして、地面に近づいたところ風力が弱くなり、思いがけず落下してしまったので、（宴会を開いていた）男女は、驚いて逃げさった。

あとに酒肴さはに残りたるを、幸吉あくまで飲み食ひして、また飛び去らんとするに、地よりはたちあがり難きゆゑ、④羽翼をおさめてさろうとしたが、地面からは飛び立つことはできないので、羽翼をたたんで歩して帰りける。

その跡に酒や料理がたくさん残っていたのを、幸吉は十分満足するまで飲み食いして、再び飛び去ろうとしたが、歩いて帰った。

後にこの事あらはれ、町奉行の庁に呼び出され、⑤人のせぬ事をす

後でこの事がばれて、町奉行所に呼び出され、人のしない事をするは、ⓘなぐさみといへども一つの罪なりとて、両翼を取りあげ、そは、楽しみであるとはいっても一つの犯罪であるとして、両翼を取り上げて、幸の住める巷を追放せられて、他の巷にうつしかへられける。

吉の住んでいる町から追放され、他の町に移し替えられた。

一時の笑ひぐさのみなりしかど、珍しき事なれば記す。寛政の前の事なり。

一時の笑いの種ではあるが、珍しい事なので記録しておく。寛政の前の事である。

〈菅茶山「筆のすさび」より〉

（注）表具師＝書画を掛け軸や屏風などに仕立てる職人。

問1 歴史的仮名遣い ═線ⓐ「あたはず」、ⓑ「飲み食ひして」、ⓒ「ゆゑ」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

ⓐ（　　）　ⓑ（　　）　ⓒ（　　）

SAMPLE

問2　**古語の意味**　現代語訳を参考にして、次の言葉の意味を書きなさい。

(1)　さはに　（　　）

(2)　あくまで　（　　）

問3　**現代語訳**　～～線㋐「近よりて見ん」、㋑「なぐさみといへども」の現代語訳を抜き出しなさい。

㋐（　　）

㋑（　　）

問4　**内容理解**　――線①「一鳩をとらへて」とありますが、幸吉が鳩をとらえたのはなぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　鳩（はと）がけがをしていて地面から飛び立てなかったので、家の上の階から飛ばせてやろうと思ったから。

イ　鳩の翼（つばさ）に自分で作った機械を取り付けて、鳩を操って飛ばせようと思ったから。

ウ　鳩の体重や翼の長さを調べて機械の翼を作り、自分で空を飛ぼうと思ったから。

エ　鳩の翼の強さや大きさを調べて、自分が鳩につかまって空を飛ぼうと思ったから。

□

問5　**主語**　――線②「郊外をかけりまはりて」とありますが、これは誰（何）の動作ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　幸吉　　イ　一鳩

ウ　男女　　エ　筆者

□

問6　**内容理解**　――線③「おどろき叫びて逃れ走りける」とありますが、宴会にいた人たちが驚いて逃げ出したのはなぜですか。理由に当たる部分を古文中から十字で抜き出しなさい。

□

問7　**内容理解**　――線④「羽翼をおさめて歩して帰りける」とありますが、徒歩で帰ったのはなぜですか。その理由について書かれた次の文の□に当てはまる言葉を、現代語で十字以内で書きなさい。

地面からは、□ができなかったから。

□

問8　**内容理解**　――線⑤「人のせぬ事」とありますが、これは幸吉が何をしたことを指していますか。古文中から漢字二字で抜き出しなさい。

□

問9　**内容理解**　古文中から筆者の行動が書かれている部分が含（ふく）まれる一文を抜き出し、初めの五字を書きなさい。

□

問10　**内容理解**　この古文の内容として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　幸吉は、鳩の体を参考にして作った、機械仕掛けの翼を使って、地面から直接飛び立ってみせた。

イ　幸吉は、宴会をしている人たちの酒や料理を横取りしようとたくらみ、こっそりと近づいて行った。

ウ　幸吉は、酒と料理を満喫（まんきつ）した後、その場所から飛び去ろうとしたが、飛び立てなかったため、歩いて帰った。

エ　幸吉は、自分の行動を町奉行にとがめられたが、翼を奉行所に献上することを条件に、罪を許してもらった。

□

SAMPLE

補講2 コミュニケーション・表現

学習日 月 日

▼▽▼ 次の校内新聞のコラムを読んで、後の問いに答えなさい。

言葉の選び方は難しい！

異世代交流活動の一環で高齢者施設に定期的に通うようになり、三か月がたつ。最近は、高齢者と気軽に話す機会も増えてきた。

先日、ある高齢者の方の歌声を聴く機会があり、その美声に驚いた。後でその方に「鳥肌が立ちました！」と声を掛けたところ、彼女は表情を曇らせ、悲し気な声で「そんなつもりはなかったんだけど、怖かった？」と言われた。私は「すばらしかった」と伝えたかったのだが、そう受け取ってもらえなかったのだ。言い直したものの、気まずい感じになってしまった。相手に伝わる言葉の選び方について考えさせられた経験だ。

問1 **言葉の意味** 「鳥肌が立つ」という言葉は、①本来どのような場合に使われますか。また、②このコラムの筆者はどのような場合に使ったのですか。

①（　　）　②（　　）

問2 **言葉の意味** 「鳥肌が立つ」の他にも、本来の意味から変化して使われている言葉には、どのようなものがありますか。考えて書きなさい。

言葉	
	本来の意味
	変化した意味

問3 **作文** ――線「相手に伝わる言葉の選び方」について、次の〈条件〉にしたがって意見文を書きなさい。

〈条件〉
1 二段落構成とし、百五十字以内で書くこと。
2 前段で自分の体験、または問2で挙げた言葉に触れること。
3 後段では、前段の内容を踏まえた自分の考えを書くこと。
4 前段の最初と後段の最初は、一マス空けて書くこと。

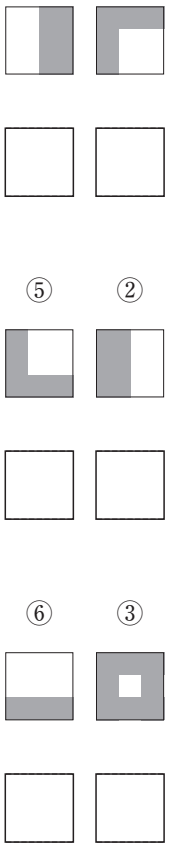
SAMPLE

言語 1 漢字の組み立て・部首

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 振動が伝わる。（　　）
② 動物が畑を荒らす。（　　）
③ 新聞に連載する。（　　）
④ 父は頑固だ。（　　）
⑤ ゴールまで懸命に走る。（　　）
⑥ 貧富の差をなくす。（　　）
⑦ 丈夫な体をつくる。（　　）
⑧ 一面に砂丘が広がる。（　　）
⑨ 予定を確認する。（　　）
⑩ 約束の時間に遅れる。（　　）
⑪ 情景を描写する。（　　）
⑫ ざらざらした感触。（　　）
⑬ 後ろに隠れる。（　　）
⑭ 新しい服が欲しい。（　　）
⑮ 公園のベンチに座る。（　　）
⑯ ボクの意見を言う。（　　）
⑰ 勝利にカンキする。（　　）
⑱ ヨウチ園に入園する。（　　）
⑲ リレキ書を書く。（　　）
⑳ あの人はダレだろう。（　　）
㉑ 手に汗をニギル。（　　）
㉒ 字の形がチガウ。（　　）
㉓ ユウシュウな成績。（　　）
㉔ アワを立てる。（　　）
㉕ フツウは十時に寝る。（　　）
㉖ 表現をクフウする。（　　）
㉗ 氷をウカベル。（　　）
㉘ 手でオサエル。（　　）
㉙ 窓ガラスがクモル。（　　）
㉚ シンセンな野菜。（　　）

1 漢字の組み立て　次の■が部首のとき、その部分を何とよびますか。後から一つずつ選び、記号で答えなさい。



ア へん　イ つくり　ウ かんむり　エ あし
オ たれ　カ にょう　キ かまえ

2 部首　次の漢字の部首の名前を、平仮名で書きなさい。

① 都（　　）　② 独（　　）
③ 利（　　）　④ 固（　　）
⑤ 厚（　　）　⑥ 登（　　）
⑦ 無（　　）　⑧ 起（　　）

3 部首　次の各組の漢字に共通する部首の名前を、平仮名で書きなさい。

① 売 田 合 氏（　　）
② 元 至 各 示（　　）
③ 車 丁 予 占（　　）

SAMPLE

言語 2 漢字の音訓

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 出演を依頼する。（　　）
② 早めに就寝する。（　　）
③ 詳細に調べる。（　　）
④ 梨の木を植える。（　　）
⑤ 農業が盛んな地域。（　　）
⑥ 失敗を恐れるな。（　　）
⑦ 資料を基に考察する。（　　）
⑧ 幾つもの星が光る。（　　）
⑨ 大きな負荷がかかる。（　　）
⑩ 盾を持って防ぐ。（　　）
⑪ 足音が響く。（　　）
⑫ 迫力のある場面。（　　）
⑬ 矛でつらぬく。（　　）
⑭ 彼女とは初対面だ。（　　）
⑮ 広場を斜めに横切る。（　　）
⑯ タノモシイ仲間。（　　）
⑰ 部屋のカンキをする。（　　）
⑱ 食品テンカ物。（　　）
⑲ トチュウで引き返す。（　　）
⑳ スルドイ指摘をする。（　　）
㉑ フミのやり取りをする。（　　）
㉒ キョウレツな印象。（　　）
㉓ かぐやヒメの物語。（　　）
㉔ ほうきで庭をハク。（　　）
㉕ 横断歩道をワタル。（　　）
㉖ モモの実を採る。（　　）
㉗ ユカをみがく。（　　）
㉘ 服をタタム。（　　）
㉙ 水でウスメル。（　　）
㉚ カンキョウの変化。（　　）

---

1 **漢字の音訓** 次の漢字の、A…音読みを片仮名で、B…訓読みを平仮名で書きなさい。

① 城　A（　　）　B（　　）
② 腹　A（　　）　B（　　）
③ 訳　A（　　）　B（　　）

2 **漢字の音訓** 次の漢字のうち、音読みしかない漢字をすべて選び、記号で答えなさい。

ア 異　イ 翌　ウ 垂　エ 善
オ 材　カ 至　キ 孝　ク 奮
（　　）

3 **漢字の音訓** 次の各組のうち、他とは――線部の読み方が異なる漢字を一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ア 暗幕　イ 幕府　ウ 開幕　エ 煙幕（えん）　□
② ア 正座　イ 正装　ウ 公正　エ 正直　□
③ ア 農夫　イ 夫人　ウ 夫婦　エ 夫妻　□
④ ア 規模　イ 模様　ウ 模型　エ 模造　□

SAMPLE

言語 3 漢字の成り立ち

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 花瓶にばらをかざる。（　　）
② 床板を傷める。（　　）
③ 斑点のある犬。（　　）
④ メダカが産卵する。（　　）
⑤ 丹精こめて育てる。（　　）
⑥ 比喩を用いた表現。（　　）
⑦ 通信網の整備。（　　）
⑧ 愉快な気分になる。（　　）
⑨ 腕章をつける。（　　）
⑩ 妙な物音がする。（　　）
⑪ 重い腰を上げる。（　　）
⑫ 透明なガラス。（　　）
⑬ 苦笑を浮かべる。（　　）
⑭ 一切を引き受ける。（　　）
⑮ 挨拶を交わす。（　　）
⑯ りんごがイタム。（　　）
⑰ 土の中のビセイブツ。（　　）
⑱ 列車のキップを買う。（　　）
⑲ コイお茶を飲む。（　　）
⑳ 病人をカイゴする。（　　）
㉑ おカシを食べる。（　　）
㉒ 特技をジマンする。（　　）
㉓ カクゴを決める。（　　）
㉔ 肩の力をヌク。（　　）
㉕ ワが国の人口。（　　）
㉖ ウデドケイを買う。（　　）
㉗ 罪をツグナウ。（　　）
㉘ ユウガな動作。（　　）
㉙ 法律をオカス。（　　）
㉚ 門をトザス。（　　）

1 **漢字の成り立ち** 次の漢字の成り立ちとして適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 下 □　② 月 □　③ 信 □　④ 構 □
⑤ 河 □　⑥ 本 □　⑦ 林 □　⑧ 魚 □

ア 具体的な物の形をかたどった象形文字。
イ 抽象的な物事を図形や記号で表した指事文字。
ウ 二つ以上の漢字を組み合わせて新しい意味を表した会意文字。
エ 意味を表す部分と音を表す部分からできた形声文字。

2 **漢字の成り立ち** 次の会意文字を、もとになった二つの漢字に分けて書きなさい。

① 好 □ ＋ □
② 鳴 □ ＋ □
③ 位 □ ＋ □
④ 看 □ ＋ □

3 **漢字の成り立ち** 次の形声文字を、A…意味を表す部分と、B…音を表す部分とに分けて書きなさい。

① 創　A □　B □
② 指　A □　B □
③ 洋　A □　B □
④ 糖　A □　B □

SAMPLE

言語 4 慣用句

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 友人を紹介する。（　　）
② 朝日が昇る。（　　）
③ 中軸となる選手。（　　）
④ 古新聞をひもで縛る。（　　）
⑤ 税金を徴収する。（　　）
⑥ ユリの花が匂う。（　　）
⑦ 柔和な表情。（　　）
⑧ 威厳を保つ。（　　）
⑨ 獣医を志す。（　　）
⑩ 道の幅が広い。（　　）
⑪ 意気消沈する。（　　）
⑫ 影絵を映す。（　　）
⑬ 新商品を試す。（　　）
⑭ どちらかを選択する。（　　）
⑮ 大会を開催する。（　　）
⑯ 海をナガメル。（　　）
⑰ ゴムひもをノバス。（　　）
⑱ アマイ飲み物。（　　）
⑲ 水と油がブンリする。（　　）
⑳ 名人にヒッテキする。（　　）
㉑ ダンスをオドル。（　　）
㉒ 出費をオサエル。（　　）
㉓ 声に感情をコメル。（　　）
㉔ 国境をコエル。（　　）
㉕ オクバでかみくだく。（　　）
㉖ スナオに答える。（　　）
㉗ バスでソウゲイする。（　　）
㉘ ヒロウが回復する。（　　）
㉙ メズラシイ宝石。（　　）
㉚ 物音にオドロク。（　　）

1 **慣用句** 次の□に当てはまる、体の一部を表す漢字一字を書きなさい。

① 長時間歩いて、□が棒になる。（　　）
② 料理の腕をほめられて、□が高い。（　　）
③ サーカスの見事な演技に、□を丸くする。（　　）
④ 家族が皆（みな）、弟のいたずらに□を焼く。（　　）

2 **慣用句** 次の慣用句の意味を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 油を売る（　　）
ア 仕事の調子が出る。　イ 無駄（むだ）話などをして怠（なま）ける。
ウ 無意味なことを続ける。　エ 慎重（しんちょう）に物事を進める。

② 板につく（　　）
ア 印象深く、心に残る。　イ 決まりきったことをする。
ウ 怖（こわ）くてその場を動けない。　エ 仕事にすっかりなじむ。

③ 二の足を踏む（　　）
ア 気が進まず、ためらう。　イ 前の人の失敗を繰り返す。
ウ 後回しにする。　エ 次の言葉が出てこない。

3 **慣用句** 次の――線の慣用句のうち、使い方が正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。（　　）
ア 厳しいトレーニングを続けたので、顔から火が出る。
イ おなかがいっぱいになって、さじを投げる。
ウ 絶対に遅刻をしないよう、くぎをさす。
エ 自分に都合のいいように、つむじを曲げる。

SAMPLE

言語 5 類義語・対義語

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 敵を撃退する。（　　）
② 経費を削減する。（　　）
③ 部屋を掃除する。（　　）
④ ボールが弾む。（　　）
⑤ 雪が舞う。（　　）
⑥ 在庫の有無を調べる。（　　）
⑦ 喉の調子がよい。（　　）
⑧ のみで石を彫る。（　　）
⑨ 休暇をとる。（　　）
⑩ 荷物を抱える。（　　）
⑪ 急襲をしかける。（　　）
⑫ 樹脂で加工する。（　　）
⑬ 意見を端的に述べる。（　　）
⑭ 盗難を防止する。（　　）
⑮ 税金の額を申告する。（　　）
⑯ ゼツメツした動物。（　　）
⑰ 柱に時計をカケル。（　　）
⑱ スイトウの茶を飲む。（　　）
⑲ トナリの家を訪ねる。（　　）
⑳ 雑草をカル。（　　）
㉑ ロウカを走らない。（　　）
㉒ オカヤマ県に行く。（　　）
㉓ ケンジツに暮らす。（　　）
㉔ 太陽系のワクセイ。（　　）
㉕ タガイに助け合う。（　　）
㉖ イッパン的な考え。（　　）
㉗ アセを流して働く。（　　）
㉘ 責任をツイキュウする。（　　）
㉙ サイゲツを重ねる。（　　）
㉚ 髪（かみ）をカワカス。（　　）

1 **類義語** 次の言葉の類義語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 意見　ア 意味　イ 見解　ウ 意志　エ 見当　（　　）
② 向上　ア 動向　イ 上昇　ウ 上等　エ 進歩　（　　）
③ 返事　ア 応答　イ 返礼　ウ 解答　エ 用事　（　　）
④ 本心　ア 真実　イ 熱心　ウ 真意　エ 誠意　（　　）

2 **類義語・対義語** 次の①～④は類義語、⑤～⑧は対義語になるように、□に当てはまる漢字を書きなさい。

① 永久 ＝ 永□
② 体験 ＝ □験
③ 順調 ＝ □調
④ 苦労 ＝ 苦□
⑤ 主観 ↕ □観
⑥ 横断 ↕ □断
⑦ 受動 ↕ □動
⑧ 絶対 ↕ □対

3 **対義語** 次の言葉の対義語を、漢字二字で書きなさい。

① 安全 ↕ （　　）
② 反対 ↕ （　　）
③ 増加 ↕ （　　）
④ 拡大 ↕ （　　）
⑤ 収入 ↕ （　　）
⑥ 禁止 ↕ （　　）

SAMPLE

言語 6 言葉の単位（文節）

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

①先陣を切る。（　　）
②客船の甲板。（　　）
③緊張をほぐす。（　　）
④期限を超過する。（　　）
⑤寒さが峠を越す。（　　）
⑥布を染色する。（　　）
⑦先攻のチーム。（　　）
⑧説明に納得する。（　　）
⑨猟犬を飼育する。（　　）
⑩古書を鑑定する。（　　）
⑪かばんを手に提げる。（　　）
⑫蜂の群れが飛ぶ。（　　）
⑬外科の手術を受ける。（　　）
⑭選手が交替する。（　　）
⑮足音を忍ばせる。（　　）
⑯成功をイノル。（　　）
⑰フクロに詰める。（　　）
⑱ナイショの話をする。（　　）
⑲手がヨゴレル。（　　）
⑳セイダイに祝う。（　　）
㉑国政にカンヨする。（　　）
㉒仲間をハゲマス。（　　）
㉓コンキョを述べる。（　　）
㉔布に針をサス。（　　）
㉕テイチョウに迎える。（　　）
㉖ハクシュを送る。（　　）
㉗他人の才能をネタム。（　　）
㉘勉強をケイゾクする。（　　）
㉙幼児のおユウギ。（　　）
㉚ハズカシイ気持ち。（　　）

1 **文節** 次の各文を、例にならって文節に分けなさい。

例 図書館で／本を／借りる。

①彼は驚いて後ろを振り返った。
②子供たちが笑う声が聞こえてくる。
③あの人は毎日三時間勉強する。
④母は今買い物に出かけたところだ。
⑤期待していたので落胆が大きかった。

2 **文節** 次のうち、正しく文節に分けられているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 明日からは／天気が／よく／なる／そうだ。
イ 明日からは／天気が／よくなる／そうだ。
ウ 明日からは／天気が／よく／なるそうだ。
エ 明日からは／天気が／よくなるそうだ。

□

3 **文節** 次の各文はいくつの文節からできていますか。算用数字で答えなさい。

①彼女の好きなスポーツはバレーボールらしい。
②日が暮れるまで何度も同じ場所を歩き回った。
③それが私の伝えたかったことです。
④今日できることを片づけてしまおう。

③□　①□
④□　②□

ヒント

文節…文節とは、文を、言葉の意味を壊さない程度に短く区切ったひとまとまり。文節で区切るときは、「ネ」をつけて確かめてみる。「……て（で）……」は二文節に分かれる。

SAMPLE

言語 7 言葉の単位（単語）

漢字の読み書き 次の――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

① 金属が劣化する。（　　）
② 生活の知恵。（　　）
③ 稲の穂が出る。（　　）
④ 曖昧な返事をする。（　　）
⑤ 近況を知らせる。（　　）
⑥ 吉報を待つ。（　　）
⑦ 警鐘を鳴らす。（　　）
⑧ 友人と疎遠になる。（　　）
⑨ 本塁打で逆転する。（　　）
⑩ 架空の物語。（　　）
⑪ 瞬時に理解する。（　　）
⑫ 露天風呂に入る。（　　）
⑬ 駅前の雑踏。（　　）
⑭ かき氷が溶ける。（　　）
⑮ 即座に返答する。（　　）
⑯ 空にニジが見える。（　　）
⑰ アシアトをたどる。（　　）
⑱ つらくてもシンボウする。（　　）
⑲ スナハマで遊ぶ。（　　）
⑳ 太陽がカガヤク。（　　）
㉑ ボケツを掘る。（　　）
㉒ 野球部のセンパイ。（　　）
㉓ 味付けがカライ。（　　）
㉔ フタゴの赤ちゃん。（　　）
㉕ 機械がコワレル。（　　）
㉖ ヒガイを抑える。（　　）
㉗ 寒さにフルエル。（　　）
㉘ 木のカゲで休む。（　　）
㉙ 空が青くスム。（　　）
㉚ 得点をウバウ。（　　）

1 **単語** 次の各文を、例にならって単語に分けなさい。

例 図書館／で／本／を／借りる。

① 彼女の話し方はいつも穏やかだ。
② 午後になり気温がだんだん上昇する。
③ この辺りは一面コスモスの花畑だ。
④ 急に彼は私の前から立ち去った。
⑤ 父に新しい自転車を買ってもらった。

2 **単語** 次のうち、正しく単語に分けられているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア ゴールを／目指して／走って／いた。
イ ゴール／を／目指して／走って／いた。
ウ ゴール／を／目指し／て／走っ／て／いた。
エ ゴール／を／目指し／て／走っ／て／い／た。

□

3 **単語** 次の各文はいくつの単語からできていますか。算用数字で答えなさい。

① 学校の向こうに図書館がある。
② 彼女の歌声はとてもきれいだ。
③ 医者になることが私の夢だ。
④ テレビばかり見ないで勉強しよう。

③ □　① □
④ □　② □

ヒント

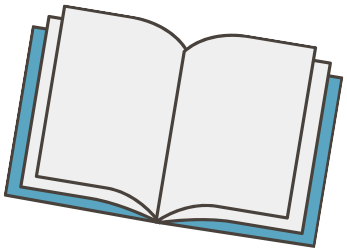
単語…単語とは、文節より小さい、意味をもつ言葉の最小の単位。「分ける」→「分けれ（ば）」のように形が変わる場合に注意する。二つ以上の言葉が結びついて新たな意味をもつようになった複合語は、一語と数える。例「呼び出す」

SAMPLE

紙面サンプルはここまでです。
弊社教材サンプルをご覧いただき
ありがとうございます。

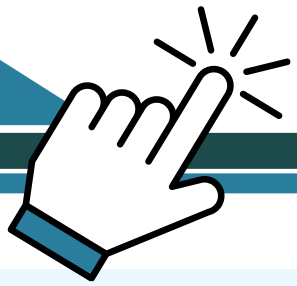
塾・学校の先生限定サイト

Bunri Teachers'Site へのご登録で、全ページ版をご覧いただけます。



登録無料で、他にも便利な機能がたくさん！
ぜひお役立て下さい。

Bunri Teachers'Site 会員登録はこちら



※ご登録には弊社発行の招待コードが必要です。

教材サポート

単元テスト、指導用資料、
学習サポートアイテムなど
指導をサポートするコンテンツ

最新の教育情報

社会時事問題、高校入試分析、
教科書採択情報など最新の
教育に関する情報をお届け

各種教材やテストの お問い合わせ・お申込み

生徒さま一人一人に合った教材・
テスト・デジタルコンテンツを
ご提案

※Bunri Teachers' Siteは，塾・学校の先生方のための情報サイトです。
ユーザー登録していただくことで，会員限定の詳細情報をご覧いただくことができます。
本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。予めご了承ください。

お問い合わせフォーム
招待コード発行や教材の内容・ご購入方法等
お気軽にお問い合せ下さい。

資料ご請求フォーム
弊社教材カタログ、教材やセミナーの
最新情報をお手元にお届けします！

BUNRI